

七、歴史年表（戒石銘の位置づけ）

封 建 時 代	古 代	原 始 時 代
室 町 時 代	奈 奉 時 代	
安土桃山時代	飛鳥時代	○ 縄文・弥生時代における当地方のありさまについては、市内の原瀬上原遺跡や塩沢上原遺跡が発掘され、多数の土器などの出土から、約四千五百年前にすでに人間の営み(集落形成)があつたことが判明している。
一五四 氏郷領内検地をする	○ 万葉集に「あだたら」の名がみられる ○ このころ養蚕が行われる	○ 一本松のおもなできごと ○ 狩猟・漁撈・採集の生活が長く続く
一五六 ○ 蒲生氏郷が二本松城代となる ○ 二本松領の検地をする ○ 豊臣秀吉が会津に入る	○ 三〇五 新古今和歌集に「安達原」がうたわれる ○ 三四〇 島山高国が奥州探題として塩沢田地ヶ岡に館をたてに入る ○ 三四一 島山満泰が白旗ヶ峯(今の城山の頂上)に霧ヶ城を築く	○ 大和朝廷の統一がすすむ ○ 大陸文化の伝来(漢字・儒教・進んだ技術)
一五六 ○ 応仁の乱がおこる ○ 各地で土一揆がおこる ○ 豊臣秀吉太政大臣となる ○ 豊臣秀吉が全国を統一する	○ 一二六 藤原道長が摂政となる ○ 二五八 源頼朝が鎌倉に幕府を開く ○ 三四〇 足利尊氏が室町幕府を開く ○ 三四一 足利義満、明との勘合貿易を始める	○ 日本のおもなできごと ○ 大陸から、稻作、金属器が伝わる ○ 大化の革新が始まる ○ 大宝律令が制定される
明	宋 北 宋 南 五代 ○ 君主・高宗が太宗御製の戒石銘を石に刻ませる ○ ルネサンスが始まる	世界のおもなできごと 三五 ○ 唐の文化が全盛となる ○ イスラム文化がさかえる ※中国のようす ○ 後蜀の君主・孟昶により、戒石銘の原典戒諭辞あらわされる ○ 君主・太宗が戒諭辞より四句十六字を抜きだし戒石銘とする
一五六 ○ 戒石銘碑を湖北省・京山県庁門前に建立する	○ 戒石銘碑を広く各州県の門前に建立	